

国際ロータリー第2580地区（東京・沖縄）

# 東京武蔵村山ロータリークラブ

Tokyo-Musashimurayama Rotary Club

週報 No.1574

2003-04年度国際ロータリーテーマ 「手を貸そう」 RI会長 ジョナサン・マジアベ

国際ロータリー 第2580地区  
2003-04年度ガバナー 戸田 一

「脚下照顧・少欲知足」

6月はロータリー親睦活動月間です。

本日の例会  
卓話『一年を振り返って』  
石井 源一郎 会長



Lend a Hand

第1575回  
例会  
2004. 6. 16

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

「ロータリーの理解を深め、  
楽しいクラブ活動にしよう。」

第32代クラブ会長 石井 源一郎

次回例会案内【6月23日(水)】  
最終例会 菊水亭

## 第1574回例会報告

司会：原田 友義 SAA委員長

点 鐘 (石井 源一郎 会長)

齊 唱

我等の生業

来客紹介 (石井 源一郎 会長、榎本 昭 会員)

○お客様 卓話講師 東京小石川RC 鹿野 琢見 様  
卓話アシスタント 谷口 朋子 様



出席報告 (栗原 高明 出席出席委員長)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
34名	31名	91.18%	前々回の親睦旅行全員登録

会務報告 (石井 源一郎 会長)

○米山梅吉記念館より「館報 2004 春号」を頂きました。

幹事報告 (比留間 重次 幹事)

○入会についてのアンケート

委員会報告

○残堀川の清掃について(野島 征 環境保全委員長)  
いよいよ今週土曜日12日に残堀川の清掃が迫ってまいりました。小雨決行ですので皆様のご協力を宜しくお願い致します。尚、雨天で判断のつかない場合は私の自宅にご連絡下さい。

○少年野球東西対抗について(比留間 孝司 青少年奉仕委員長)  
13日の日曜日、総合第三運動場にて少年野球東西対抗戦を行います。残堀川の清掃と二日続きで例会振替でもないにもかかわらず、皆様の奉仕の思想にのっとりたご協力に心から感謝申し上げます。当日は宜しくお願い致します。

◇創立 1972年7月8日 ◇承認 1972年7月20日  
◇スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ  
◎会長 石井 源一郎 ◎幹事 比留間 重次  
○副会長 清水 高彦 ○副幹事 薄井 政光  
□会報雑誌委員長 田中 伸彦 副委員長 石井 賢司  
委員 栗原 高明、芦川 征史、峯岸 一郎

◇例会場 西武信用金庫・村山支店2階  
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1  
◇例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
◇クラブ事務局  
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1

# 卓 話 『竹久夢二の世界』

弥生美術館・竹久夢二美術館 館長  
東京小石川RC 鹿野 琢見 様



私は弁護士をして55年になりますが、戦後軍隊から帰り、東北大学を卒業し、東京に出て弁護士をしています、平凡な弁護士です。

私が竹久夢二に興味をもつきっかけ、夢二の世界に入ることになったきっかけは、40年前に日本少年という雑誌に載っていた挿絵画家 高島華宵の「さらば故郷」という挿絵でした。この絵は故郷を門出する美少年、後ろには草葺き屋根の家、飼い馴れた犬が描かれ、この絵に感動し、戦争に行くまで大事にしていたのですが、戦後、軍隊から帰った時、その絵がなくなっていました。しかし、高島華宵が兵庫県明石の養老院で寂しい余生を送っていることを知り、あのような絵を描いて欲しいと手紙を書いて依頼したところ、私をモデルにした絵を描いて2週間程で送ってくれました。妻がその様子を見ていて、少女時代、憧れていた美少年、美剣士の絵が欲しい旨をお願いすると「われ勝てり」という絵を描いて送って頂きました。その2枚の絵を私の家の一室に飾り、「華宵の間」と名づけた旨を伝えると、華宵さんが是非、その部屋を見たいとわが家に来て、その部屋を見、ここに住みたいと言い、その部屋に家族の一員として生活するようになりました。このことが華宵さんとの更に進んだ巡り合いとなりました。その後、華宵さんが亡くなり、そのことが新聞に掲載され、その中で必ずと言っていい程、竹久夢二と並び賞される高島華宵と書かれており、竹久夢二とはどんな画家なんだと関心を持つようになりました。

夢二は昭和9年に亡くなったわけですが、私が若い頃は夢二は講談社の本にはなかなか載りませんでした。それは夢二が不品行であるという評判があったからです。竹久夢二と並び賞されるという点に興味を持つと共に、戦後、戦前のものが見直されるようになり、夢二に関心を持つようになりました。夢二の世界に入って行くときますます竹久夢二が大変な画家であることがわかり、夢二狂になりました。

竹久夢二は明治17年9月16日に岡山県の村の小さな造り酒屋で農業を営んでいる家に生まれ、小さい時の名前は茂二郎といい、母やすの、6歳上に姉がおり、母と姉に大変可愛がられ、その後の作品には母と姉をモデルにした絵がいくつか見られます。

これは私の所にある、郷里の風景を描いたものです。また、夢二の若い時代に書いた日記ですが、私が手に入れた貴重なもので、早稲田実業に入った頃の、明治37年9月23日が始まりで、縁先での食事風景、日露戦争の勝利の提灯行列の絵の入った日記です。平民新聞の中に弱者の哀れみを表すような絵を描いています。

夢二は22歳の時、2才年上のたまきと結婚し、長男が誕生しますが、2年余りで離婚をしています。その後もたまきとは同棲を繰り返し、次男、三男をもうけています。私は次男の方と親しくし、夢二の絵のことについて聞くことができました。

大正2年8月3日の大阪毎日新聞の貴下の最も好きなもののアンケートがあり、それによると、夢二は草花は月見草。樹木はポプラ。動物は乗るために馬。色彩は女の皮膚と太陽の光。香気はフランネルの匂。時季としては一日のうちではいつにても夢のざわめき。一年では南国ならば春より夏へかけて。北国の冬の室内。詩歌は白秋の詩の或る物。小説はバイブル。絵画は別に好まじきものなし。彫刻はムニエの或る物。音楽は三味線にて歌う日本の歌。芝居はショウの馬盗人、紙治、井上正夫、吉右工門、鴈二郎、福助、梅幸。遊戯はベースボール。娯楽は触覚と聴覚を刺激するもの。住みたしと思わるる時代は王室に生まれれば埃及の国に。名門に生まれれば平安時代。されど所詮は空想に過ぎざれば今の時代に生まれたるを喜ばねばならぬ。住みたし外国の土地は、余のごときコスモポリタンには住もうというには多くの条件を要す。さればまず所定めずまだ見ぬ国へ行って見たし、と答えている。



[担当: 栗原(高)]

## 本日の食事



## ニコニコBOX (小林 均 親睦委員)

波多野総会員⇒週日6月3日 ホスト 秋川RC 山田会長の元、次年度 第1回目の多摩分区分区連絡会を各クラブ会長、幹事をはじめ、地区委員、事務局員全員に近いご参加を頂き、分区運営、そしていくつかの提案及び考えを挨拶の中でのべさせて頂き、なごやかな内に開催することが出来ました。関係各位のご協力と皆様方のご支援に改めて感謝申し上げます。今後共、よろしくお願い致します。

○渡辺俊晴会員⇒35回の結婚月で御祝いを頂き、ありがとうございます。先月は欠席が続いて申し訳ありませんでした。今後共、よろしくお願い致します。

○石井源一郎会長⇒栗原高明会員国際大会の写真ありがとうございました。

○峯岸一郎会員⇒栗原高明さん 親睦旅行の写真をありがとうございます。

◆ 今回計 17,000円 ◆ 累計 1,615,000円